

# アリ軍 VS ワスプマン

## 里山にすむクロスズメバチ

高嶋清明、海野和男

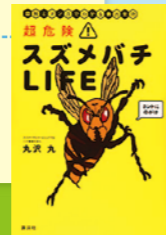
昆虫写真家、高嶋さんによる生態写真、とくに飛行写真がすごい。最後の長野の愛好家小林さんが追求するこだわりの飼育の様子も必見。



## 超危険スズメバチ LIFE

丸沢丸

スリルとワクワク・ドキドキを自らの体験から活写。スズメバチが愛おしくなる!



## 狩蜂生態図鑑

田仲義弘

様々な狩りバチの暮らしを紹介。狩りの決定的瞬間を捉えた生態写真が圧巻。



毒針をグサッ!

鉄壁の要塞なのに居候が...

## アリ・ハチのなかま

海野和男

なんとと言っても写真がキレイ。そして、生態の紹介も分かりやすい。



## アリの生態と分類

山根正気

関西以内に生息するアリを中心に紹介したアリ図鑑。



## アリたちとの大冒険

愛しのスーパーアリの追いかけて

マーク・W・モフェット

美しい写真からアリの世界に引き込まれる作品。



## アリの巣の生きもの図鑑

丸山宗利、工藤誠也、島田拓

アリと暮らす好蜜性昆虫の世界を美しい写真と共に解説。



6月2日(火)~7月31日(金)

ジュンク堂書店 池袋本店 7F  
理工書フロアカウンター前



監修 吉澤樹理(立教大学理学部) 野中健一(立教大学文学部)

## ずかん ハチ

Coco、松本吏樹郎

やさしい解説とイラストで入門書として最適。飛行中のハチの写真がすばらしい。



巣づくり上手な建築職人

## 蜂は職人・デザイナー

奥本大三郎ほか

INAXギャラリーで行われた展示会の解説書。蜂の巣の美しさと機能性に迫る。



## 人を襲うハチ

4482件の事例からの報告  
小川原辰雄

長野県の地域医療に貢献した内科医が、39年間に診察した症例にもとづき、ハチ刺し症の実態と臨床統計のほか、ハチ刺されの予防法や応急処置法、刺すハチの種類や生態などについても紹介。



## スズメバチの真実

最強のハチとの共生をめざして

中村雅雄

著者は川崎市の小学校で教員を務めながらスズメバチの生態を研究。本書では日本のスズメバチの生態やそれとの付き合い方、マレーシアや中国などアジアの多様なスズメバチについても見事な写真と共に解説している。近年、日本にも侵入したツマアカスズメバチについても現地調査を踏まえて生態や問題点を詳しく述べている。



## アリの巣をめぐる冒険

丸山宗利

採集やそのエピソードとともに、好蜜性昆虫の魅力が満載!



アリと共生している生き物たくさん

## ぜんぶわかる!アリ

島田拓

クロオオアリの生活史を写真と分かりやすい説明で解説。



## ファーブル昆虫記

奥本大三郎/訳

ハチの話は随所に出てくるが、たとえば第1巻。



## アシナガバチ観察事典

小田英智、小川宏

小田英智氏は子供向け科学雑誌の編集者や科学解説者として活躍。小川宏氏は著名な昆虫写真家で、2人がアシナガバチの巣作りから女王と働き蜂の共同生活、新しい女王とオスの誕生と交尾、新女王の越冬など、1年の生活の流れを多数の写真と平易な文章で解説している。写真はどれも大変美しく、蜂の行動や巣の作りなどを見事に表現している。小さな読者にとっても十分理解でき、かつ興味をそそる内容であり、これに触発されて未来の学者が育つことを期待したい。



## 虫こぶ入門

薄葉重

“実のようだが実ではない?”植物観察時の疑問に答え、ハチの全く別の一面が分かる。



## The ANTS

Bert Hölldobler, Edward O. Wilson

細密な図と分かりやすい説明の大作。



## 蟻の自然誌

バート・ヘルドブラー、エドワード・ウィルソン

『The ANTS』の日本語版。アリの生態はこれ一冊で。



## アリのくらしに大接近

丸山宗利

アリの写真科学絵本。詳しい解説もあり。



ギ酸でエイヤー!

## 日本産アリ類図鑑

寺山守、久保田敏、江口克之

詳しいアリの分類がわかる図鑑。



## 蜂になった男

富永朝和

無数に襲いかかるキイロスズメバチを巧みに操り、100個以上の巣を合体して六畳間ほどもある世界最大の巣を作り上げた男の「痛さ」と「愛」に満ちた奮闘記。巣融合のアイデアと忍耐で脱帽。



## 日本産ハナバチ図鑑

多田内修、村尾竜起/編

種ごとに詳しい形態写真を付して日本産ハナバチ類の全貌を示した最初の図鑑。



## みつばち マーヤの冒険

熊田千佳慕/絵

昆虫や植物を細密に描く熊田千佳慕さんの絵がすばらしく、いつまでも眺めたい。



## 日本産有刺ハチ類図鑑

中村雅雄

日本産の狩蜂をほぼ網羅した初めての検索図鑑。



## 日本産マルハナバチ図鑑

木野田君公、高見澤今朝雄、伊藤誠夫

マルハナバチのことを知ろうと思ったらこの本。見分け方の解説も充実。



## 社会性昆虫の進化生物学

東正剛、辻和希/共編

ハチ関係は第4章ミツバチ、第7章アシナガバチ・マルハナバチ。アリやハチを含む社会性昆虫の形態、行動、遺伝など多方面から学ぶことができる専門書。



## 世界でいちばん変な虫 珍虫奇虫図鑑

海野和男

世界のおもしろい形の昆虫の写真集。



## アリの生態ふしぎの見聞録

久保田政雄

アリのおもしろい生態が分かりやすく解説。



## 昆虫こわい

丸山宗利

昆虫採集で起きる苦勞と成果の冒険記。



## 昆虫はすごい

丸山宗利

昆虫のおもしろい生態にあなたもびっくり!?



### 季節のごちそう ハチごはん

「へボ」と呼ばれるクロスズメバチを採り、飼い、食べる人々。食べるだけでは終わらない、楽しむ笑顔が印象的な本。



ほ立つ色彩で警戒アラート

### スズメバチを食べる 昆虫食文化を訪ねて

スズメバチに生涯を捧げた唯一無二の研究者が世界を回るなかで食習慣も丹念に解明。日本をはじめ中国など各地のハチ食文化が詳しく紹介される必見。



### 高杉さん家のおべんとう3

へボの聖地、岐阜県串原のへボ祭りを舞台に物語が繰り広げられる。蜂の子飯のレシピとエピソードも。

結婚飛行の時はアリには羽があり草むらに飛んで交尾

### 昆虫食先進国 ニッポン

日本が世界に誇る蜂の子食の歴史と現在をフィールドワークや文献資料からひもとく。



目が見えなくてもフェロモンで対応

### 虫はごちそう

蜂の子もアリ食も、文化に生きる人々をこどもにも親しみやすく。



世界が注目する未来の食材

アリも美味しい! オレンジ味のもの

ハチにもアリにも針が!

### 蜂と蟻に刺されてみた

ハチとアリに刺された時の痛さを数値化?したおもしろい体験記。



アリも花粉を運ぶ

### ハチはなぜ大量死したのか

2000年代に入り欧米を中心に発生したCCD(ミツバチ群壊滅症候群)のなぞに迫ったベストセラー。ノンフィクションでありながらスリルのある書ぶりで読むものをミツバチ介して環境問題へといざなう。2009年から現在においても続く日本国内でも起きているミツバチ不足に改めてフォーカスして欲しい。



### ニホンミツバチ

外来種セイヨウミツバチが席卷してきた。なかで見直されつつあるニホンミツバチ。発行はやや古めだが、この在来ミツバチについて科学的知識を得る最初の本としてお勧めできる小百科。研究者ならではの素晴らしい写真も多数。



### ミツバチの会議

大きくなった巣から古い女王が働き蜂を連れて引っ越しをする「分蜂」。その際の意思決定方法に注目した本で、人間社会へのヒントも述べられている。



### ミツバチと暮らす

ミツバチ飼育の入門書。庭で飼うに比べて実践的な内容が盛りだくさん。



### 働かないアリに意義がある

アリの社会には必ず2割程度の「働かないアリ」がいます。ダーウィンの進化論からすれば、全員が働いて餌をとる能力が高い巣の方が「勝者」となって進化するように思えるのですが、実際の環境は常に変動しており、不測の事態に備えて、(現時点で無駄に見える)「予備軍」を生かしておくことで、突発的な難局を乗り越えて巣を「持続」させることができる。つまり「最適化」は単なる一時的な効率ではなく、長く世代を繋いでいく持続性も重要な進化パラメータであることを教えてくれる、という本です。人間社会もこれからポストコロナを迎えるにあたり、これまでの瞬間的な生産性第一主義から、持続的な生活へとシフトしていかなくてはなりません。アリから学ぶことはたくさんありそうです。



### 博士の愛したジミな昆虫

研究者が語る熱い昆虫の話!?



### ありとあらゆるアリの話

アリのあんなこと、こんなこと、全て揃ったアリのお話。惜しくも絶版ですが、探すべき!



### アリとくらすむし

子供向けで分かりやすい好犠性昆虫の世界。入門書としてもですが専門家も楽しめる内容。



### アルゼンチアリ

史上最強の侵略的外来種



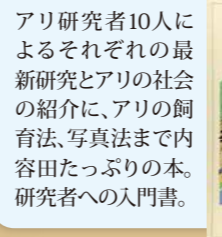
### 外来アリのはなし

外来アリに焦点を絞った一冊、そこから不思議なアリの社会にのめりこむきっかけになるかも。



### アリの社会

小さな虫の大きな知恵



### マルハナバチを使いこなす

タイトルからは想像ができないほど、内容はマルハナバチへの愛が詰まった世界初のマルハナバチの農業利用における実用書。マルハナバチの生態を分かりやすく説明しつつ、マルハナバチの利用方法を科学的な知見に基づき解説している。農作物別の利用方法だけでなく外来種マルハナバチによる環境問題についても触れており、マルハナバチの基礎と応用の両面を知ることができる一冊。



### 蜂に魅かれた容疑者

捜査の最前線から離れた警部補と獣医師免許をもつ女性巡査の迷コンビが、蜂を凶器にした事件に立ち向かう。二人のコミカルなやりとりが楽しい。行きつけの喫茶店で蜂の本を読んでいたら、横にいた女性が興味悪がって席を移る、というエピソードもあり。



### スズメバチ

在野研究者によるスズメバチ博物誌。キロスズメバチの複女王巣といった数々の新知見を、都市部を主とした観察で明らかにしてゆく。アマチュアならではの悩みや喜びも含め、プロをものぐさ情熱に敬服。



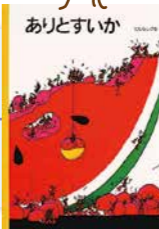
### きらいになれない害虫図鑑

普通的美術系の女性がひよんな事から地元の殺虫剤メーカーに就職し、害虫の飼育を担当する羽目に…。素人目線が実は鋭い!とすることに感心させられる。



### ありとすいか

絵が自然で気持ちがいい絵本。



### 僕らは奇跡でできている

動物行動学を教える純真無垢な大学講師と、学生や同僚との間で起こるコミカル・ハートフルドラマ!



### クルマの渋滞アリの行列

なぜ渋滞が起きるのか?を分かりやすく解説した一冊。



蟻研究指導(僕ら)アリの行列製作(モリ)協力しました!(吉澤)



### モリにいる場所

「蟻は左足の2本目から歩き出す」ことを発見! 30年間家の庭から出なかった画家熊谷守一の人生の一日を映画化。

### アリはなぜ一列に歩くか

少し古い本ですが、化学生態学についての知見を分かりやすく紹介しています。



### 身近なアリけんさくブック

はじめてアリの調べるためのアリ図鑑。



※本の情報は2020年6月のものです。デザインとイラスト/犬山ハロコ(たまさや)